

社会科における GIGA 端末を活用した授業展開



日 時：令和3年9月10日（金） 8：25～9：10

場 所：2年1組教室

対 象：2年1組生徒 32名

授業者：鈴木 翔悟 教諭

1 東根市立神町中学校の特徴

学級数：17学級、生徒数471名、教員数43名

昨年度より山形県教育委員会「ICT活用による学習活動充実の推進事業」の委託、東根市教育委員会より「ICT教育推進拠点校」の指定、今年度は東根市教育委員会より『GIGAスクール構想』タブレット活用推進パイロット校」の指定を受けている。

一人一台タブレットPC（ゴールデンウィーク期間に自宅持ち帰りの試行期間を経て、夏休みより自宅持ち帰りを全面実施し、約2ヶ月が経過している）を使用。グループウェアはMicrosoft Teamsで、各教室にWi-Fiが設置され、教師用タブレットPC画面はEZCastで大型提示装置へミラーリング可能である。

また、学習支援サービス「eライブラリ」を導入している。

2 研究主題

「主体的に学びに向かう生徒の育成」～主体的・対話的に深く学ぶ学習活動の創造～

3 単元名・目標

中国・四国地方

- (1) 中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、中国・四国地方の魅力について考えるための資料を読み取り、まとめることができる。 (知識及び技能)
- (2) 中国・四国地方の地域的特色を、交通や通信を中核として、都市の形成や人口の減少、産業の発達や衰退、生活の変化と関連付けて多面的・多角的に考察し、中国・四国地方の魅力についての自分の解釈を、根拠を持って説明することができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 中国・四国地方の魅力とは何かについて資料や意見交流の中から見出そうとし、中国・四国地方の地域的な課題について追究、解決しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

4 単元の流れ（全9時間 本時7時間目）

- ①：全国魅力度ランキングをもとに、中国・四国地方の魅力度について考える。
- ②：中国・四国地方の自然環境について整理する。
- ③：中国・四国地方の交通網と人々の生活の変化について考える。
- ④：中国・四国地方の産業の特色について考える。
- ⑤：中国・四国地方の過疎化と地域おこしについて考える。
- ⑥：中国・四国地方の歴史と文化について考える。
- ⑦⑧：中国・四国地方の「魅力」について整理し、スライドを制作する。（本時）
- ⑨：中国・四国地方の魅力を発信するスライドを共有する。

5 主に活用した機器・コンテンツ

・一人一台タブレットPC ・大型提示装置 ・Microsoft Teams ・PowerPoint ・Excel

6 本時の指導

- (1) 目標：中国・四国地方の魅力について伝えるスライドを作成する会議を通して、中国・四国地方の魅力を自然環境・交通網の発達・産業・町おこし・歴史・文化の現状の5つの視点から考察し、自分の解釈を説明することができる。
- (2) 指導過程

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※2
導入 5分 一斉 A1	●中国・四国地方の魅力に迫る5つの視点を確認する。 中国・四国地方のことをよく知らない人に魅力が伝わるようなスライドを作るには、5つの視点をどう生かす？	○ワークシートに目を向ける。自分が担当してきた視点を確認する。 	・大型提示装置	C1①a ステップ2 情報同士のつながりを見付けようとする
展開1 25分 協働 C2	●それぞれの視点からスライド編集会議を行う。	○タブレットPCに保存している写真データや根拠になる資料と一緒に提示して議論する。 ○自分が担当した視点で調べ、まとめたワークシートからアピールできる点を確認する。 ○他の地域にないものや様々なランキングで上位にあるものなどに目を向ける。 	・一人一台タブレットPC	B1①ステップ1 情報の大体を捉え、分析・整理し、自分の言葉でまとめる
展開2 10分 協働 C3	●グループごとに5分のスライドにまとめる。	○写真だけでなく、特色やデータについて簡単にテキストを挿入し、より魅力が伝わるようにする。	・一人一台タブレットPC ・PowerPoint	A2①g ステップ2 自他の情報を組み合わせる方法
まとめ 5分 個別 A1	●振り返りシートに、次時への課題への見通しを持つ。	○振り返りの視点に基づいて書くようにする。タブレットPCで振り返り、自身の振り返りだけではなく、仲間の振り返りも見るようにする。	・一人一台タブレットPC ・大型提示装置 ・Microsoft Teams (Excel)	A2②b ステップ2 情報の活用を振り返り、改善点を見いだす手順

※1 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例（IE-School における指導計画を基にステップ別に整理したもの）】(令和元年度版)全体版」に基づく表記を示す。

7 県教育センター所感

- (1) グループで資料を提示しながら説明する場面では、生徒がファイルを共有して、同時に画面を見ることで情報の共有化を図りながら、より議論に集中できるという利点もあります。
- (2) 振り返りシートで仲間の振り返りを見ることで、次時の課題への見通しをより持つことができていました。シートに振り返りの視点を明記することで、授業の焦点化を一層図ることができそうです。
- (3) 写真にインターネットなどの引用を記載することで、情報リテラシー教育にもつながります。